



兵庫県議会議員 内藤兵衛

県政NEWS
No.31 2018.1

一日生涯

「一日生涯」は、内藤兵衛議員の座右の銘です。今日の一日を生涯と心得て、全力を出し切るという思いを込めています。

平成30年の新たな年を迎えました。謹んで新春のお慶びを申し上げます。

昨年は、正副議長と並んで議会3役といわれる監査委員を拝命いたしました。県政運営が適正に執行されているか、厳しく審査する重要なポストであり、強い使命感をもって臨みました。

県政を大局的にチェックする貴重な経験を

夢叶う兵庫へ走り続ける

兵庫県議会議員 内藤 兵衛

予算執行のより一層の透明性の確保や、政策立案の向上などに活かしていきます。

さて、今年は県政150周年の節目の年を迎えます。さらに、阪

神・淡路大震災以降、懸命の努力を重ねてきた行財政構造改革の目標年次でもあります。

歴史的な転換点である今こそ、新しい兵庫づくりのスタートを切る時、「どこよりも夢叶う兵庫」の実現をとものにめざしましょう。

そのため、地域創生をしっかりと軌道に乗せることが必要です。西脇・多可から県を動かし、世界に誇る

国づくりを進める気概をもつことが大切です。そのような心意気をもつ方は沢山います。

播州織のブランド化や災害ボランティアに取り組み高校生の活躍も高く評価されています。

県政200周年に向け、これからの50年を担う若者たちの夢をより大きくふくらませ、サポートすることが私たち大人の責務です。

その夢を叶える未来への道筋を示すことが政治家の使命であり、粉骨碎身の努力をする決意です。

県・西脇・多可 とともに織りなす故郷の希望

新年あけましておめでとうございます。希望に満ちた輝かしい新年をお迎えのこととお慶びを申し上げます。

内藤兵衛県議会議員には、防災・減災対策の強化をはじめとした市民の暮らしを支えるために、国道427号西脇道路拡幅、県道黒田庄多井田線喜多バイパス整備をはじめ、市内の歩道整備、加古川、杉原川の河川改修、さらには、郷瀬町砂防堰堤工事、橋梁耐震補強工事、市内の有害鳥獣対策など、多くの事業において大変お世話になりました。市道市原羽安線(旧JＲ跡)の工事でも精力的に推進していますが、この事業化にあたりまして多大なるお力添えをいただき、深く感謝申し上げます。

さて、今年は市庁舎・市民交流施設、新ごみ処理施設の整備など、50年に一度

片山市長、吉田町長から新春メッセージをいただきました。地元選出の県議会議員として県と市町とのコーディネーター役を一層果たし、故郷の活性化へともに努力いたします。

謹んで新年をお祝い申し上げます。

2018年・戊戌の年が、内藤後援会の皆様にとっても、多可町にとっても良き年でありますことを祈念いたします。

昨年にも内藤県議には多可町の町政振興に格別のご理解とご協力をいただき、心より感謝申し上げます。

新しい年を迎え、多可町2代目町長としてめざす町政は、「変革 そして未来への約束」をスローガンに「堅実な行政への変革」と「子育てするなら多可町」といわれる町づくりです。

「堅実な行政への変革」とは、スリムで効率的な行財政システムへの変革を主眼としています。行政の本質としてやらなければならない

50年先を見据えたまちづくり！

西脇市長 片山 象三



の大型事業が控えています。投資に見合う効果をいかに発揮させるか考えると同時に、健全財政も維持していかなければなりません。

私にとりましても2期目のスタートの年です。市民誰もが誇りと自信を持って、いきいきと暮らすことができ、未来を担う子どもや孫たちの世代も安心して暮らすことができるまちにしていきたい、全力で市政運営にあたっております。

ハード・ソフトの両面で課題は山積していますが、内藤県議会議員と連絡を密にし、しっかりと連携を図りながら、ひとつずつ丁寧に課題解決にあたっております。

皆様の温かい御支援と御協力をお願い申し上げます。2018年が皆様にとって、さらなる飛躍の年になりますことをお祈り申し上げます。

ないことは確実に実行し、行政以外の組織にお願いできることはお願いしていきます。

また、「子育てするなら多可町」は、お年寄りや子ども、人権を大切にする地域共生社会の仕組みづくりや現行の医療や保育の子育て支援から一歩進めた、子育て中の母親を直接支援する政策で、子育て環境を整備していきます。

課題が山積する多可町ですが、内藤県議のお力添えを得ながら、10年後20年後に住んでよかったと言える多可町の姿を見据えた堅実な町政に取り組んでまいりたいと存じます。

結びにあたり、皆様のますますのご健勝・ご活躍とその支援の輪のさらなる広がりを心から祈念申し上げ、ご挨拶とさせていただきます。



変革 そして未来への約束

多可町長 吉田 一四

監査委員の重責担って

公正・効率的な事務執行チェック

井戸知事に決算報告書を提出



6月議会で議会選出の監査委員に選出されました。県政運営が公正で合理的かつ効率的に執行されているか、審査を行いました。9月には決算報告書、12月には監査報告書を井戸知事に提出しました。県に指導助言すること、任務の一つであり、井戸知事に対し、地域創生関連事業等の成果をより一高めていくため、PDCAサイクルの徹底を求めました。

6月議会で議会選出の監査委員に選出されました。県政運営が公正で合理的かつ効率的に執行されているか、審査を行いました。9月には決算報告書、12月には監査報告書を井戸知事に提出しました。県に指導助言すること、任務の一つであり、井戸知事に対し、地域創生関連事業等の成果をより一高めていくため、PDCAサイクルの徹底を求めました。

ひょうご型地域創生交付金を創設 県と市町協働事業を対象に40億円

平成30年度から「ひょうご型地域創生交付金」（仮称）が設けられることになりました。県と市町が協働・連携して実施する新規・拡充事業を対象に、総額40億円を計上する見込みです。

効果としては①市町の戦略に基づく安定的・継続的な施策推進②個々の地域ニーズに対応した施策の弾力的・機能的な展開③地域のポテンシャルを生かした新たな事業創設などが期待できます。柔軟な取り組みができる使い勝手の良い制度になるよう、詳細な検討が行われています。

全国初！常任委員会を地域開催

「関心、興味が高まった」85.2%



加古川市で出張開催された建設常任委員会

住民が傍聴、緊張感ある質疑応答
全国初の試みとして常任委員会の地域出張開催を今年度、4回実施しました。地域住民の方に、議員と県当局との質疑応答に接してもらったことで県議会を身近に感じてもらうのがねらいです。

私が所属する建設常任委員会も加古川市の東播磨県民局で行われ、いつもより緊張感ある議論ができた実感しています。傍聴者アンケートの結果では「議会への関心、興味が高まった」が85.2%を得るなどの評価を得ました。

県政150周年記念県民連携事業を展開 創意工夫あふれた企画を募集

1月から県政150周年記念事業が本格的にスタートしました。兵庫県では県民総参加で事業展開を図るため県民連携事業を広く募集しています。150年の歩みや未来を考える企画に1団体あたり5万円から50万円を補助します。詳しくは兵庫県ホームページをご覧ください。



内藤ひょうえ >> プロフィール << 内藤兵衛

- ・昭和33年9月14日 多可郡中町（現多可町中区）生、59歳
- ・中町立北幼稚園、同北小学校、同中町中学校、私立天理高校卒業
- ・国立大阪大学法学部卒業

県土の安全安心を高める

建設常任委員会に所属

今年度は建設常任委員会に所属しています。道路など交通基盤の整備、河川・砂防・港湾・海岸事業など安全安心な県土づくり、魅力あるまちづくり、快適な住まいづくりなどについて審査・調査しています。



多可町八千代俵田の亀ヶ谷砂防堰堤が完成



道路改良 加美八千代線 天船バイパス



道路改良 黒田庄多井田線 喜多バイパス



井堰改築 杉原川 沖田井堰（西脇市西脇）



河床掘削 加古川（西脇市蒲江地区）

自然災害への備えなど県土の安全安心を確保し、生活の質の向上、交流拡大などの基礎となる社会基盤の整備は、地域創生の実現に不可欠です。

経済活性化に必要な高速道路網に加え、生活道路の整備も重要です。近年では施設の老朽化が大きな課題になっています。厳しい財政状況の中、計画的・効率的な推進が求められていることから、ローンの活用など事業の効率化に向けた新技術の導入も進んでいます。

県内外で現場を視察・調査するなかで、今後はインフラ施設をどう地域の活性化に活かすか、各市町における振興計画、そして県のハード・ソフト両面にわたる支援の重要性が高まっていると認識しました。

県内外で現場を視察・調査するなかで、今後はインフラ施設をどう地域の活性化に活かすか、各市町における振興計画、そして県のハード・ソフト両面にわたる支援の重要性が高まっていると認識しました。

そのような観点からも県が来年度に創設する「ひょうご型地域創生交付金」の有効活用が期待されます。西脇市、多可町内においても砂防ダムの整備や、加古川の河川改修、バイパス道路の整備が行われています。主な箇所を写真で紹介させていただきます。

来年度には、県の社会基盤整備プログラムが改定が予定されており、地域の声が反映された実効性のある計画となるよう、引き続き努力してまいります。

- ・昭和57年、総合商社(株)トーメン入社。ニューヨーク本店、大阪本店、上海店勤務。平成18年10月退職。
- ・平成19年4月、兵庫県議会議員初当選。6月から任期スタート
- ・建設及び総務常任委員長、現・監査委員、建設常任委員会委員
- ・自民党県議団政調会長、同副幹事長
- 家族：母、妻、一男 ○趣味：マラソン ○好きな言葉：一日生涯